

想いの先にある、地域の明日

TOP INTERVIEW

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 株式会社 あすらん | 5 株式会社宇野モータース |
| 2 株式会社 亀の井別荘 | 6 大栄開発 株式会社(大分パブリックゴルフ場) |
| 3 社会福祉法人 三和福祉会 安岐中央こども園 | 7 株式会社 あま乃 |
| 4 社会福祉法人 博愛会 パルクラブ | 8 三信産業 株式会社 |

進学・就職の夢をサポートし 子どもたちの今と未来に光を灯す

代表取締役 片原 由貴子氏

「子どもたちの可能性を引き出し開花させられるよう、
寄り添い背中を押していきたい」と片原氏



大分中央ブロック
同友会

学童保育業

株式会社 あすらん

【所】大分市羽屋2-1-53 【電】097-578-6995 【休】土・日曜、祝日



子どもたちの悩みに寄り添い、 ともに輝ける場所を

「あすらん」は2014年に大分初の民間学童保育として産声をあげて以来、つねに子どもたちの声に耳を傾け歩んできた。学童保育を立ち上げた翌年に、様々な理由で学校に通うことが難しい小・中学生を対象にしたフリースクールの運営を開始。その2年後には、広域高校のサポート校を設立、さらに昨年5月には高校卒業後の進路に悩む子どもたちへ自分磨きや魅力発見のサポートを行う「伴走型予備校」も開校する。他にも個別学習塾やそろばん、プログラミング、将棋教室なども運営するなど、多様な学びの場を増やしている。

その原点は、代表取締役・片原由貴子氏自身の、母親としての想いにあった。一人息子に学童保育へ預けようと思学に行った際、先生たちは一人ひとりに関わ

りたいと思っても児童が多く、手厚くサポートすることは難しい状況ではないかと気がつく。その時「息子には学校と家以外でも、有意義な時間を過ごせ、兄弟のような絆や教養を築ける場に預けたい」。そう感じたことが、事業をはじめるすべての始まりだった。

しかし、前例のない「民間学童」の船出は困難を極めた。「30人は集まるだろう」という予測に反して、開所時の生徒はわずか1人。知名度のなさや公立の学童との料金の差などの壁に阻まれ、1年目にして閉鎖の危機に直面する。「何とかしなくては」と、片原さん自らチラシを配り宣伝活動を行う日々もあったという。

経営を軌道に乗せる大きな力となったのは、子どもたちの困りごとに真摯に向き合う情熱と諦めない心だった。「学校に行けない子がいる」と聞けばフリースクールの、「その先の進路がない」と知れば高校

をと、子どもたちの「助けて」という声に応え続けていくうちに評判は保護者にも広がり、事業も自然と拡大していった。

自ら考え創造することの 楽しさを体感してほしい

「あすらん」が大切にしているのは「ゼロからものをつくること」。「子どもたちの主体性や自立心、自己肯定感を育むことが大切」と語る。自ら考え行動し、形にしてい経験こそが、未来を生き抜く力になると信じているからだ。

今後は乳幼児や新米ママさんが楽しく過ごせ、子育ての悩みを相談できる、ベビークラスの設立や、高齢者向けのシェアハウスの構想も描く。「将来的にはうちで学んだ子どもたちやスタッフ、その家族など多世代が集える“場所”をつくりたい」。明るい笑顔で朗らかに語る片原さんの夢は、これからも進化し、膨らんでゆくだろう。



独自のカリキュラムで自立心や社会性も学びながら過ごせる民間学童「あすらん」



企画はもちろん設営準備、当日の進行まで、すべて子どもたちが作り上げる行事もたくさん実施する

1/毎年実施する夏まつりでは小・高校生がゼロからイベントを作り上げ、多くの人で賑わう
2/オレンジ色の外観が目印、民間学童フリースクール、高校などすべての学びの場が集まる

伝統と革新が溶け合い、 進化する「滞在型保養施設」を目指す

代表取締役 中谷 太郎氏

「従業員をはじめ、苦しい時期も支えてくれともに歩んできた女将である妻にも感謝したい」と中谷氏



久大同友会

旅館業

株式会社 亀の井別荘

【所】由布市湯布院町川上2633-1 【電】0977-84-3166



閑寂の森に息づく、 名宿の伝統と4代目の挑戦

湯布院は今や全国にその名を轟かせる屈指の観光地。その中心部にありながら、静寂の森のような、美しい庭園に抱かれるように湯布院を代表する名宿「亀の井別荘」は佇む。本館と古民家風の離れからなる客室、敷地内の源泉から湧く温泉など季節の移ろいを体感できるこの宿の創業は大正10年。3代目主人であった中谷健太郎氏は、50年以上前に「湯布院を滞在型保養温泉地にする」とのビジョンを掲げ体現し、湯布院の名を全国に広めた人物だ。その志を受け継ぎ現在、4代目を務めるのが、代表取締役の中谷太郎氏である。

中谷さんが事業を継承したのは2013年。「旅館業は本来、家業の側面が強く、うちも父も含め先代たちは皆、家業としての営みが色濃かった。しかしこれからは、長

い歴史の中で築き上げてきた宿の美意識やおもてなし、風情へのこだわりは大切にしつつ、社員の人生を守る意味でも、企業としての側面も必要」と、それまでの雑多な経営スタイルや従業員の規律などを少しずつ改善していく。しかし、長年染みついた体質を急に变えることは容易ではなく、時には従業員やOB社員、親族たちからの厳しい風当たりを受けることもあったという。「覚悟はしていたものの、事業継承の難しさを痛感した」と、就任当初の心境を明かす。

伝統に息を吹き込む 10年計画のリニューアル

そんな中、中谷さんが大きく舵を切ったのが、先代の頃から手直しできていなかった宿のリニューアルだった。しかし2014年に着手しはじめた矢先に、熊本地震が発生。「大きな被害を受け、心が折れそう

になった。だが、あの地震が逆に背中を押してくれ、立て直しへの覚悟が固まり、大きな転機になった」。最上級の離れ「百番館」のリニューアルをはじめ、10年がかりの計画は今もなお進行中で、今年1月には客室だった場所を改修し、6席限定の「庭内カウンター割烹」も新設した。

宿のこれからについて、中谷さんは「屋号にもあるように“別荘のような旅館、旅館のような別荘”として滞在型の施設を目指す」と語る。現代人に寄り添った居心地の良さと、日本文化や風情を併せ持つ場でありたいという。

「湯布院が全国的に知られてきたことに感謝しつつも、かつての風情が薄れかけていることに複雑な気持ちを抱くこともある。だからこそ、本来の湯布院の姿を伝え続ける場として私どもがあり続け、この町の文化と歴史をつないでいきたい」。伝統を守りながらも進化を続ける歩みは続く。



離れの客室でも最上級の客室「百番館」。くつろぎのリビングやロフトルームなどを備える



1／家具や照明はもちろん細部にまでこだわりをちりばめた、くつろぎと上質な雰囲気あふれるロビー
2／美しい庭園内には食事処「湯の丘庵」や「茶房天井棧敷」「バー山猫」名産品を扱う「鍵屋」も軒を連ねる

自然と人とのふれあいを大切に 生きる力を育むこども園

理事長・園長 古原 正昭氏

「今年は職員が良い経験と知識を身に付けられるよう、
県内だけでなく県外研修の場を増やしたい」と古原氏



国東同友会

認定こども園

社会福祉法人 三和福祉会 安岐中央こども園

【所】国東市安岐町下山口606-3 【電】0978-67-1968 【休】日曜、祝日



震災が大きな転機に。 安全な保育の場への熱い想い

理事長兼・園長を務める古原正昭氏の両親が1975年に設立した「安岐中央保育園」から数えると、今年で50周年の節目を迎える。

古原さんは園の事業を始める前は、大分市で公務員として働いていた。「長年サラリーマン生活を送り、2011年の定年後はゆっくり第2の人生を送ろうと思っていたので、保育園を継ぐことは考えていなかった」。しかし古原さんの人生を変えたのは、同年に起こった「東日本大震災」だった。「あの時の災害を目にしたとき、安岐の保育園のことがすぐに頭に浮かんだ。父と母が懸命に30年以上育ててきた園を守らなければと思ったのと同時に、未来ある子どもたちの命を守るためにも、安全で安心して過ごせる保育園を作りたいと直感的に感じた」。まるで運命

に導かれるかのように、定年と同時に生まれ故郷の安岐へ戻り、保育園運営の道を選ぶことを決意。すでに老朽化が進んでいた保育園をより安全な地域へ移転し、建て替えることに尽力し2013年、現在の場所に新築移転を果たす。今の場所を選んだ理由は、安岐の風土と自然を感じられることや、海拔27mの高台にあり、津波などの災害時も安心であること、さらに過疎化・高齢化が進む地域の人から「近頃は子どもも少なくなって寂しい。ぜひ園をつくってほしい」という声にも応えたいという想いがあった。

職員が満たされる環境こそ、 良い保育の根底

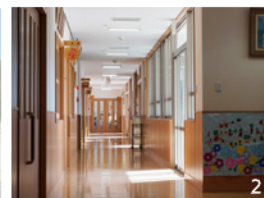
園は2015年には幼保連携型認定こども園の認可を取得し、「安岐中央こども園」と改称。古原さんが、こども園の運営で最も重視するのは、職場環境や職員へ

の処遇だ。有給休暇の積極的な取得や定時での退社、誕生日休暇の導入、子育てや介護などで急な休みが必要な場合、優先的休暇を取れるよう配慮するなど、職員が心と体に余裕をもち働ける環境を築き上げた。「良い保育を実現するには、職員にとってよい職場環境であることは不可欠。子どもたちと日々向き合う職員が、疲弊してばかりの環境にはしたくなかった」。こういった取り組みが保育の質や、モチベーションアップにも繋がっている。

「少子高齢化が進む昨今、過疎地域でこども園を運営することは大変なことも多いが、保護者や地域の人との信頼関係をこれからも大切にしたい。しかし、今の自分の原動力は、子どもたちと職員の笑顔。セカンドライフ、今が一番楽しいし輝いていますよ」。優しい眼差しで語る古原さんは、今日も元気いっぱいな子どもたちを朝から出迎えている。



元気いっぱいな
子どもたちの声
が、地域にも明る
く響き渡る



1／緑あふれるのどかな場所にあり、豊かな体験活動や行事を通じてのびのびとした保育を行う 2／0歳～5歳児までの子どもたちがそれぞれの成長に応じた保育を受け、楽しい毎日過ごす 3／こども園のほか、小学校の放課後児童クラブや病児・病後児保育の運営、地域の子育て支援事業にも取り組む

働くことの喜びと生きる力に満ちあふれ、 輝ける場所でありたい

施設長 赤嶺 光徳氏

「利用者は同じ働く仲間、との気持ちで訪れてくださった
お客様をみんなで精いっぱいもてなしたい」と赤嶺氏

竹田同友会

第1種・第2種社会福祉業

社会福祉法人 博愛会 パルクラブ

[所] 竹田市久住町大字有氏896-22 [電] 0974-77-2941 [休] 火曜



久住の大自然とともに笑顔をつぐ、 多機能型事業所

知的・発達障害のある方を中心とした福祉事業を手がける「博愛会」が運営する、就労継続支援A・B型事業所「パルクラブ」。

設立のきっかけは、同法人が営む福祉農場「コロニー久住」で、農業や畜産、加工業などの技術を習得した入所利用者の、働く場を創出するためであった。

久住の山々を望む広大な敷地には、温泉「大地乃湯」をはじめ、石窯で焼く本格ピザや新鮮な野菜、自家製ハムを取り入れた料理を味わえる「石窯ダイニングfuu」、アウトドア感覚で焼肉を楽しめるレストラン、いちごハウスなどがあり、多くの観光客が訪れる久住で人気のスポットとなっている。利用者たちは、それぞれの個性や特性を活かしながら、店舗や施設で使用する野菜の栽培やハムの加工、清掃・

メンテナンス、接客や調理補助などの仕事を行う。

同施設の最大の特徴は、利用者自身が「頼りにされている」と実感できる就労支援だ。例えばレストランで提供するピザは職員が生地作りを、利用者がトッピングを担当するなど、できることを分業・協業している。「まずは、利用者の能力や個性を信じて任せてみる。もしも失敗した時は職員がサポートし、得意なことから再び挑戦してもらえばいい」と、施設長の赤嶺光徳氏。この考えこそが、仕事をすることの喜びとやりがいにつながっている。

自衛官からの転身。 利用者のひたむきな姿が励みに

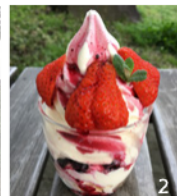
赤嶺さんは「毎日、利用者から学ぶべきことが多い」と言う。「35年前に、ここでの仕事に就く前は、神奈川県横須賀で海上自衛官の幹部自衛官として勤務し

ていたが、縁あって地元・大分に戻り社会福祉の世界へ飛び込んだ。自衛官の仕事しか知らなかった私にとって、180度異なる仕事は当然のことながら、わからないことだらけだった。そんな時、コツコツと働く利用者を見た時、一生懸命に農作物をつくり人と接し、働くことの大変さややりがいの両方を教えてもらった。今まで自分がやってこれたのは、彼らから元気をもらえているからだと思う」と想いを語る。

また法人全体の取り組みの一環として同施設をはじめ、関連する福祉・介護施設が中核となり現在、久住町の旧商店街の再活性化事業も進めている。その昔、宿場町であった頃の久住の街なかの雰囲気再生し、地元の人や観光客らが街歩きを楽しめる通りをつくらうと、地域活性化を目指す。地元の人たちとともに、久住の未来をつくるプロジェクトの実現が楽しみだ。



壮大な久住の自然の中にある。
施設は温泉、レストランなどのほか、ゲストハウスも運営



利用者は現在就労支援A型、B型合わせて約40名。日々真剣に、楽しく自分の仕事に取り組む

1/露天風呂や家族湯を備える「大地乃湯」。地下900mから汲み上げた自噴温泉は多くの客でにぎわう
2/「いちごハウス」で採れたスイーツは、利用者の意見をもとに誕生した「パルクラブ」の人気商品

夫婦二人三脚で提案する 「ヒトとクルマの美容と健康」

代表取締役 宇野 文章氏

「妻との出会いがあったからこそ新たな取り組みに挑戦できている」と明るく気さくな人柄の宇野氏



杵築同友会

自動車修理・販売、エステ業

株式会社宇野モータース

【所】杵築市山香町倉成130-2 【電】0977-75-0256 【休】第2・4土曜、日・祝日、盆・正月



「山香で暮らす人々の役に立ちたい」 との想い

代表取締役の宇野文章氏の祖父が、昭和初期に自転車屋として開業。その後、時代の変貌とともにオートバイや自動車など扱う車種を広げ、現在は自動車の車検、整備、新車・中古車の販売、板金塗装を行う。

宇野さんは家業を継ぐ前は他県でサラリーマン生活を送っていたが、28歳で地元へ戻り家業へ入る。以来、「地域の人にとって大切な移動手段である車に関する様々な困りごとに応える」との想いで丁寧な技術とサービスを行い、地元の人々からの信頼も厚い。

そんな宇野さんの人生に大きな転機が訪れたのは現在、専務取締役であり妻の景子さんとの出会いであった。独身を買ってきた宇野さんは49歳、景子さん38歳の時に結婚。ふたりは過疎化や高齢化

が進む山香で何か新しいことにも取り組んでいかなければと、車検・整備の事業に加え新サービスの提供や、新事業として「エステサロン」の設立に踏み切る。

夫婦の出会いがもたらした、 2つの事業の新たな融合

宇野夫妻が考えた自動車業・エステ業、2つの事業の新たなコンセプトは「ヒトとクルマの美容と健康」。その理念を実現するため、今年1月には整備工場の隣に新たな社屋兼店舗「ベッピンサロン BEPPIN SALON」をオープンさせた。建物内は、車検や修理のお客様のためのサービスフロアと、エステサロンを併設。自動車部門は、カーコーティングや手洗い、羊毛モップを用いた洗車などの新サービスを開始した。一方、景子さんが運営するエステ部門では、フェイシャルエステやリンパマッサージをはじめ、漢方やよもぎの蒸気で代謝を促

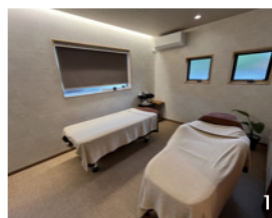
す「おうど黄土漢方よもぎ蒸し」、ネイリストによる本格ネイルなども楽しめ、女性にうれしいサロンとして注目を集める。

「事業の礎を築いてくれた祖父や父、母、そして現在、一緒に歩んでくれている妻には感謝しかない。これからも事業に楽しみながら取り組み、地域に恩返ししたい」と宇野さん。今後、新たにカーコーティングと洗車の専用ルームも建設予定で、宇野夫妻は洗車技術のスキルアップのための研修に参加するなど、新事業成功に向け尽力する。

また宇野さんは「山香グリーンツーリズム研究会」の会長を担うほか、景子さんも山香の人々の安全のためにと、防災士の資格も取得し、献身的に地域の活性化や事業を支える。互いを信頼し、家族への愛情に満ちた宇野夫妻の新たなチャレンジは、人々に健やかな笑顔と元気をもたらすだろう。



エステやネイルなどのほか、レンタルルームとして利用できる個室スペースもある



エステを受けている間に洗車をお願いすることもOK。車も人も、キレイになるというアイデアが面白い

1/理学療法士、防災士など様々な資格を持つ、妻・景子さんによるエステやリンパマッサージが受けられるサロン内
2/エステサロンの隣にある車検や車の修理、洗車などで訪れたお客様がくつろげるスペース

利用しやすいサービスで 「気軽にゴルフを」の想いを守る

代表取締役社長 乙津 隆蔵氏

「祖父・父から受け継いだゴルフ場を、
時代に合わせ変化させつつも守り続けたい」と乙津氏



大分南部ブロック
同友会

ゴルフ場管理業

大栄開発 株式会社 (大分パブリックゴルフ場)

【所】大分市津守六十部 【電】097-569-5000 【休】なし



低価格、短時間でも楽しめる 手軽さが魅力のゴルフ場

「大分パブリックゴルフ場」を運営する。開業は昭和46年。現在、代表取締役社長を務める乙津隆蔵氏の祖父が、ミカン畑だった現在の場所を開拓し、ゴルフ場にしたのがはじまりである。当時、大分市内でゴルフ場は数えるほどしかなかった時代から、変わらず大切に続けているのは、「誰でも気軽にゴルフを楽しんでほしい」との想いだ。

それを裏付ける同施設の魅力のひとつが、平日3950円、早朝5時半～7時までなら3450円と、圧倒的にリーズナブルな料金。一般的なゴルフ場と比較しても、半額～1/3ほどという安さである。他にもパー65で回れるコース設定や、18ホールの多くが短くコンパクトな造りのため、3～4時間程度の短時間でプレーを満喫できるのも特徴。「仕事前の時間を利用して

朝活ゴルフを」「18ホールを練習目的で回りたい」など、自由度が高く利用しやすいサービスで、幅広い世代のリピーターも多く、忙しい現代人にもマッチしている。

良心的価格や特色あるコースだけでなく、「ゴルフ場の命」ともいえる芝の質に関しても妥協はしない。「芝の刈り込みだけでなく年に数回、穴あけ作業をし通気性を良くするなどの作業は大変。特に梅雨～梅雨明け時期は、暑さに弱い芝の管理は非常に難しく、手間のかかる作業が続く。しかし芝のベストコンディションを保つことは、お客様が快適にプレーするためにはもちろん、芝の健康状態にも関わるため手は抜かない」と、強いこだわりを貫く。

丁寧なコース管理で、 快適なプレーを提供

乙津さんは大学卒業後、大分県内のゴ

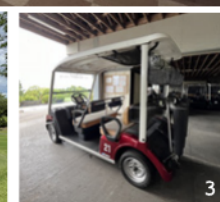
ルフ場に勤務し、ゴルフコースの管理業務のキャリアを積む。20代後半には将来、家業のゴルフ場を継ぐうえで、さらにコース管理の知識を深めたいと、ゴルフの本場であるアメリカへ留学した経験も持つ。

2代目であった父から事業継承し3代目となり、今年で6年目。今後の展望については「創業からの『誰でも気軽にゴルフを』とのコンセプトは守り続けたい。より良いゴルフ環境をお客様に提供し続けるためにも、人材確保が直近の課題」と語る。

「現在、約20万平米ほどの敷地にあるコースを約6名と少数精鋭のスタッフで管理している。この仕事は、体力的な厳しさもあり人材が集まりにくいのが現状。ゴルフに興味をもち情熱を注いでくれる若き力の発掘にも努めたい」。人材不足の課題解決にも注力しつつ、老若男女問わず楽しめるゴルフ場を追求する日々は続く。



コース管理は天候との戦い、日々の努力を惜みず、良好な芝の状態を保つ



1／ログハウス風のクラブハウス内。レストランも併設されている。2／眺望の良さも魅力。大分光吉インターから車で約7分とアクセスも良い。3／シャフトからロングホールまで、18ホールをセルフカートで気軽に回りプレーを楽しめる

老舗旅館の伝統に 「蕎麦」の新風を吹き込む4代目の挑戦

代表取締役 天野 成信氏

「香々地は自然豊かでいいところです」と天野氏。
3児の父として子育てにも奮闘する豊後高田市
同友会

飲食業・宿泊業

株式会社 あま乃

[所] 豊後高田市新栄1378-2 (地蔵) [電] 070-8511-8271 (地蔵)
[休] 水曜・日曜 (地蔵)

転機は、関西の蕎麦店での修業経験

豊後高田市香々地で100年以上の歴史を持つ老舗旅館「梅乃屋」と、「昭和の町」から車で5分ほどの場所にある「胴搗 自家製粉 手打ちそば 地蔵-Jiji-」を営む。

代表取締役の天野成信氏は大阪の大学を卒業後、和食店で働いていた。地元豊後高田市では蕎麦の生産に力を入れ始めた頃で、旅館の3代目である父・栄一さんから「豊後高田は将来、蕎麦の産地として人気になるだろう。いつか地元で蕎麦店をやってみてはどうか」と、勧められた。だが「父からのアドバイスを聞いた当初は、実は蕎麦をやろうと強く思っていたわけでもなかったし、地元へ戻ることも真剣には考えていなかった」と当時を振り返る。その後、和食店を辞め、縁あって大阪のそば店に勤務。その時に合った蕎麦の旨さと蕎麦打ちの奥深さに

惹かれ、約5年間修業を重ねた。

31歳で香々地へ戻った当初は、父と母が切り盛りする旅館を手伝う事に専念していたが、大阪での修業経験を活かしたいと2022年7月、同市内に手打ち蕎麦の店を開く。

全国でも珍しい「胴搗自家製粉」の蕎麦

「地蔵」の蕎麦の大きな特色は、その店名にもある「胴搗^{どうづき}」と呼ばれる製粉方法にある。一般的に知られる「石臼挽き」ではなく、杵でそば粉をつくような製粉法を用い、天野さんが毎朝、丹念に蕎麦打ちを行う。全国的にも非常に珍しい製粉法を取り入れた蕎麦は、豊かな薫りと、ややシャープさのある独特の食感が特徴。「十割もりそば」、「かけそば」や「地蔵御膳」、蕎麦粉を衣にした「そば粉天ぷら」、「そば団子」、「そば茶アイス」など、オリジナリティのあるお品書きが揃う。その味

は評判を呼び、オープンから3年たった現在、遠方から足を運ぶリピーターも多い。

「蕎麦打ちは、毎日同じ作業の繰り返しのように見えるが、天候や気温などによって出来上がりも微妙に異なるのが面白い。豊後高田市産の蕎麦の美味しさを、うちでしか出せない魅力を交えながら提供したい。今後は、そば粉を使ったガレットや蕎麦の実サラダなど、カフェのように蕎麦を楽しめるメニューも検討している」。

店の人気が定着し、蕎麦職人として自身の店を営む天野さんだが、「料理人でもある父が腕を振るう魚料理を求めて、多くのお客様に支持されている旅館の運営も引き続き頑張りたい」と旅館業もサポートする。伝統ある老舗旅館と手打ち蕎麦の店、2つの事業に取り組む天野さんの奮闘は続く。



打ちたての蕎麦は、
まずは塩で味わうのが「地蔵」流。
蕎麦粉を使った天ぷらも旨い



1/ ゆったりくつろげる開放感ある店内。窓越しに広がるのどかな風景を眺めつつ、蕎麦を堪能できる
2/ 「地蔵」は国道213号線を真玉海岸方面へすすむ途中にある
3/ 活魚を使った旬の魚料理が人気の「梅乃屋」。父・母、天野氏と奥様、家族みんなで営む

攻めの経営と人材重視で 未来を見据えた事業を展開

代表取締役 大野 真人氏

「建設現場において、安全で確かな仕事をするうえで
我々の機材の品質管理は最重要」と大野氏

大分中央ブロック
同友会

仮設機材リース業

三信産業 株式会社

[所] 大分市新貝6-7 [電] 097-552-1015



徹底した品質管理と利便性を追求し、 信頼を確立

建設現場の足場をはじめ仮設機材のレンタル、施工などを主力事業とし、今年で53期目を迎える。現在、県内各地だけでなく福岡県や山口県にも拠点を広げ、計17の営業所・支店をもつほか、3つのグループ会社も運営する。

代表取締役の大野真人氏が40歳で先代から事業承継した頃は、バブル崩壊後の景気後退の影響が残り、同業他社が守りの経営に徹している時期であった。しかし大野氏は、あえて積極的に県外への進出を行ったほか、日本製鉄株式会社九州製鉄所大分地区構内にも営業所を設け足場機材の需要を着実に取り込むなど、業界の動向を先読みしリスクをチャンスへと転換。社長就任以来20年で、グループ会社を含め売上を倍増させることに成功する。

同社の躍進を支える強みの1つが、地域

に密着した「機材センター」の展開にある。「顧客が1時間圏内で必要な機材を調達できる」という利便性を実現し、約27か所に機材センターを配置(グループ会社含む)。その結果、各地域の建設会社からも高い支持を得て、強固なシェアを確立した。

また、機材の品質管理も徹底して行う。厚生労働省所管の「仮設工業会」が認定する「モデル工場」の資格取得を全社一丸となって推進。その結果、全国でも20か所程度しかない認定工場のうち、半数以上を三信産業グループが取得する。この実績は、大手ゼネコン含め業界からの絶大な信頼にもつながっている。

社員が働きがいを見出せる 独自の福利厚生や制度

大野氏が積極的に取り組むことのひとつに、社員が長く安心して働けるための様々な制度の構築がある。社員の配偶者

が、産休・育休などで収入が減少した際、収入の一部を会社が補填する独自の「育児休業支援制度」を約3年前から導入。さらに「奨学金補助制度」として、会社が返済額の半分を負担する制度も実施する。また、賞与も年2回から3回にして増額をするなど、社員が満足度と働きがいを感じられる取り組みも行う。

今後の新たな試みとしては、猛暑の中での業務負担軽減と生産性向上を目的に、2025年7月より大分機材センターで「夜間の機材整備」を試験的に行う。軌道に乗れば将来的に建設機材の修理を専門とする会社を設立し、新たなビジネスにつなげることも視野に入れている。

攻めの事業戦略で成長を遂げながら、社員とその家族の未来までも見据えた仕組みづくりに取り組む姿勢は、これからも建設業界と地域社会の未来を明るく照らす。

会社設立から50年を過ぎ、本社
社屋を改修・増築し一新した



1/社屋のリニューアルを機に設けられた社員の休憩スペース。まるでカフェのようにくつろげる空間
2/大小規模を問わず、県内・県外の様々な建設現場の作業の「要」となる足場を提供する
3/いち早く求める機材を調達できる場として「機材センター」を県内各地に設けている

けんしん同友会 新加入会員

●大分中央ブロック同友会

大分丸善運輸(株)	山本 直喜
(株)ジェイテック	阿部 清治
FDM(株)	高倉 潤
(株)ティー・シー・ジャパン	阿部 誠
(株)ジョイプラン	松本 和久
(株)藤企画	舩巴 清人
大木治郎行政書士事務所	大木 治郎
(株)テラスバ	田口 誠一郎
ゆいのこころデンタルクリニック	松岡 俊樹
(株)ベツダイ	矢邊 弘
(有)ヴィナス美容室	嶋本 亜未子
(株)城東運輸	平 岳人
(株)オアシス	川上 馨
(株)ダックス	小倉 正裕
(有)和田紙店	和田 浩
(株)クリアテック	池邊 友起
(株)前田工務店	前田 良平
(株)伊藤工務店	伊藤 浩治
(株)サンウッド	阿南 雅哉
(株)SMILE LIB	松浦 正和
和蔵(株)	野仲 亮一
(株)向陽製作所	平松 大典
トヨタカローラ大分(株)	林 新太郎
豊國建設(株)	池邊 紘一郎
黒田司法書士事務所	黒田 健
不動産wood's 株式会社	林 修平
株式会社カームハウス	甲斐 浩二
月の和不動産(株)	塩月 圭太
(株)ふくろう	松川 誠

●大分南部ブロック同友会

オーエムデザイン株式会社	姫野 友孝
株式会社 奏	市原 博之
エムランド	首藤 昌弘
(株)美月不動産	永井 恭子
宮永不動産(株)	宮永 政和
(株)アラモト工業	新本 幸夫
(株)小畑組	小畑 博文
(株)クラシカ	森岡 紘司
学校法人 後藤学園	乃村 恭弘
(株)ビッグウェーブカワサキ	甲斐 一徳

●大分東部ブロック同友会

(株)豊国企画	倉橋 航太
よつば電工(株)	宇都宮 徹
(株)マイタウン	佐藤 大介
(株)慶成建設工業	山崎 慶
(有)豊翔テック	森 穰
(株)サロンドイノベーション	宗 正史
(株)アンド ゴー	後藤 孝子
(株)スマートータルサービス	荒井 景太
安東技建(株)	安東 将悟
合同会社 CWORK	横尾 雅光
(株)TKGスリーケー・グローバル	加藤 慶太

●別府・日出同友会

(株)BLS	明石 秀伸
(株)プランニングおがわ	小川 さよ子
(株)サン・タナカ	首藤 崇宏
(株)萬吉	後藤 万吉
ミネルバ(株)	嶋川 奨
(株)福笑居	甲斐 由美
ひろまつ社会保険労務士	廣松 秀人
三友工業(有)	牧野 淳一
(有)旅館千成	浅野 直樹
(有)井村電設	井村 正孝
(有)昭和衛生社	河野 正勝
(株)623office	池田 睦
(株)Re-Next	小野 綾兵
(株)佐野土木建設	佐野 聡
(株)穴井電機	穴井 伸一
(株)上野建設	上野 公則
清家石油(株)	清家 壽人
(有)日出タイヤショップ	恒松 公博
(有)荷宮電工	荷宮 孝之
(有)城組	城 英哲

●豊後高田市同友会

(株)オクパック	奥田 淳二
(株)トヨ・テック	都築 貴志
(有)肉のかなおか	金岡 次男
ブルーヴァール	野崎 良
はなまるおーと	下山 進

●宇佐市同友会

ヘアーサロンみついいし	三石 憲司
-------------	-------

●九大同友会

(有)二本の葦束	梶原 強
----------	------

●大野同友会

(株)小田原工務店	小田原 哲也
(株)Laughking Company	亀井 秀和
(有)カネフジ	安藤 裕孝

●竹田同友会

(有)阿南忍製材所	阿南 誠治
(株)大丸建設	河野 公史
(株)姫野一郎商店	姫野 武俊
(株)ネクサス	工藤 康成

●佐伯地区同友会

(株)イノヴィスコンサルタント	高橋 智和
(株)インベスト大分	渡辺 達也
(株)SEIEI	池田 誠
(株)みつわ不動産	岡野 隆志
佐伯重工業(株)	竹中 浩
(有)佐伯電業社	宮本 昌和
(有)生活サポートセンター	亀井 順
(株)大輝エンジニア	大良 満明

●国東同友会

ムサシ工業(株)	城本 隆彦
(株)AsorA	松原 慎也
(株)オリタ	織田 英一郎

新加入会員様Q&A

① 経常者としての姿勢 ② 座右の銘 ③ 趣味や休日の過ごし方 ④ 未来への思い



大分東部ブロック同友会
(株)サロンドイノベーション
ビストロブリュット
bistro BRUT
大分市府内町 1-5-1 1F
代表
宗 正史氏

① ワインを通じて人と人がつながり、心豊かな時間を共有できる場をつくることを大切にしています。輸入から販売、飲食店運営まで一貫して関わる中で、常に品質と誠実さを第一に考えています。短期的な利益にとらわれず、生産者やお客様、地域社会と共に歩む姿勢を貫くことが、私にとって譲れない思いです。

② 利他の心を忘れず、共に歩み、共に栄える。

③ 休日はリフレッシュを兼ねて県外の飲食店を訪れ、食文化やサービスの新たな発見に触れることを楽しみにしています。そこで得た刺激は自店の運営にも還元され、常に新しい価値を提供する原動力となります。また、温泉に浸かりながら心身を整えることも欠かせない習慣です。食と温泉、この二つが私にとって最高の学びと癒しの時間です。

④ 今後はナチュラルワインを中心に、多様な食文化と調和する提案を進めていきたいと考えています。輸入販売やビストロ運営を通じて、地域の食の魅力を発信し、大分を訪れる方々に新しい発見を届けることが目標です。地域の生産者や飲食店と協力しながら、食文化の豊かさを次世代につなぐ存在でありたいと願っています。



別府・日出同友会

有限会社日出タイヤショップ
速見郡日出町大字川崎 2014 番地の1

代表取締役

恒松 公博氏

① サービス業として、お客様に対して常に感謝の気持ちを忘れないように心がけています。

感謝の気持ちをもってお客様に接すると良い印象が伝わるので次の取引に繋がります。

② 良くも悪くも続けていくことが大事だと思っています。良い接客であったり目の前のお客を大事にすることを続けることが大切だと思います。

③ 3年くらい前から友人と始めたゴルフです。最初は面白くなかったんですけど最近やっと楽しさが分かってきて良いリフレッシュになってます。大分県信用組合日出支店の県信会にも積極的に参加し他業種の方と交流を深めています。

④ 私たちタイヤ業界も他の企業と同じで人手不足、少子高齢化という社会問題に直面しています。その中で弊社としても日出町、大分県を少しでも盛り上げられるように日々努力します。



竹田同友会

株式会社姫野一郎商店
竹田市大字会々 2718

代表取締役社長

姫野 武俊氏

① ・拡大路線よりも堅実、充実路線を目指す。

・誠実な商いに徹し、お客様の満足を追求する。

・変化に対応し、常に挑戦する。

② 日新日進(にっしんにっしん)

日に新たなるものは、日に進むなり

③ ゴルフ、お寺巡り、温泉、マッサージ

(月1回程度のゴルフ、全国の名刹巡礼、温泉やサウナとマッサージのセット)

④ 少子高齢化、過疎化の進む竹田市において、地域産業でもある乾椎茸生産を絶やすことなく、様々な切り口から、全国、全世界に向けて発信していきます。



「第32回けんしん美術展」「メセナアワード2024」優秀賞受賞

令和6年11月26日、東京都港区南青山のスパイラルホールにて公益社団法人「企業メセナ協議会」主催の「メセナアワード2024」の表彰式が開催され「第32回けんしん美術展」が「メセナアワード2024」の優秀賞を受賞しました。

公益社団法人「企業メセナ協議会」は社会・経済・文化をつなぐメセナ活動を推進し、文化振興プラットフォームの役割を担うべく事業展開をする団体です。その活動の一環として企業によるメセナの充実と社会の関心を高めることを目的に、企業や企業財団などが取り組むメセナ活動を表彰する「メセナアワード」を1991年より続けています。34回目を迎えた昨年は「This is MECENAT2023」に登録し認定された全国175件の活動の中から、メセナ大賞1件と優秀賞5件が選ばれ、優秀賞の中に「第32回けんしん美術展」が選出されました。

昨年の大賞は四国のカトーレック株式会社、優秀賞は、私共のほか、花王株式会社、公益財団法人鹿島美術財団、公益財団法人クマ財団、公益社団法人ニッセイ文化振興財団・日本生命株式会社の5団体が選ばれました。歴代の受賞団体には日本を代表する企業が名前を連ねています。その中で、私共けんしんは、地方の一金融機関の地域限定の活動ではありますが、地域密着の活動性と30数年にわたる継続性が評価され、今回の受賞となりました。

授賞理由としては、

- ①継続して幅広い人々の創作・交流の場を作り、地域の活性化と文化振興に寄与している。
- ②作者への発表機会の提供により地域の人材育成とともに芸術文化の視野の拡大と循環に繋げている。

というものです。

メセナ協議会の関係者の皆様も審査員の先生方も「けんしん美術展」を高く評価してくださり、今回の受賞を広く関係者・職員に伝え、企業風土としてのメセナ活動への理解をさらに深めてほしいとの言葉をいただきました。

本年度の「第34回けんしん美術展」もメセナの実践すべく下記の日程で開催いたします。同友会の皆様にご支援いただいております「同友会賞」も発表されますので、ぜひお誘いあわせの上、会場にて出展者の皆様の素晴らしい作品をご鑑賞ください。



第34回けんしん美術展

令和7年10月8日(水)～10月17日(金)まで(土日祝日も開催)
大分県信用組合 本店5階ホール 9時～17時まで

巡回展

1. 令和7年10月21日(火)～10月30日(木)まで(水・祝日は除く)
(入賞作品のみ) 大分県信用組合 けんしんプラザ
10時～19時(平日) / 10時～17時(土日)
2. 令和7年11月4日(火)～11月14日(金)(平日のみ)
大分県信用組合 安岐支店 9時～15時



佐伯地区同友会
視察旅行
令和7年3月12～13日
長崎(雲仙・ハウステンボス)、
佐賀(祐徳稲荷大社)へ
視察



お笑いの雫と
お酒の夕べ
2024年10月18日
けんしんOBの藤塚
元支店長を招待し落語を
披露して頂き、同友会
会員と親睦。

同友会 アルバム

令和6年度 けんしん宇佐市同友会 通常総会



宇佐同友会
令和6年度通常総会
2024年7月26日
総会后、来賓を招待し
主に「地方誘客促進」に
ついてシンポジウムを
行った。

令和6年度 けんしん宇佐市同友会 通常総会



豊後高田市健幸セミナー



豊後高田市同友会
講演会・健幸セミナー、
懇親会
2025年2月7日
大分大学医学部 生物学教授
松浦恵子氏による健幸セミナー
「がんについて学ぼう」



けんしん豊後高田市同友会通常総会



けんしん中津下毛同友会通常総会・講演会



中津下毛同友会
総会・講演会・懇親会
2024年9月6日
元参議院議員 白坂亜紀氏を
お迎えし講演を
頂く。



宇佐市同友会
ゴルフコンペ・懇親会
2025年3月14日
同友会員の各方を招待し、
情報交換を行う。





COMPANY

有限会社 宮崎マイカーセンター

自動車販売・整備業

販売から整備まで一貫対応。頼れる車の専門店



新車・中古車の販売から車検、修理、保険まで一貫して行う。代表取締役の佐藤勇治氏は20代の頃、創業者の父から「車について勉強をしてこい」との助言を受け、東京の大手中古車販売会社で、車販売のノウハウを徹底的に身に着けた。その後、家業へ入り、43歳で事業承継した。創業時から変わらず大切にしているのは、地域に密着したサービス。顧客に最適な車選びの提案や、些細な車の不具合にも丁寧に寄り添う。「変動の激しい業界だが時代の波とともに柔軟に変化しながら、車の困りごとに応えたい」と、地域のカーライフを支えていく。

カーシェアやカーリースの相談にも対応。「車のことなら何でも頼れる店」と幅広い世代から支持されている

〔所〕 大分市大字宮崎883
〔電〕 097-568-5211
〔休〕 火曜、第1・3月曜



有限会社 キツキ環境センター

一般廃棄物収集業

杵築の美しい環境を丁寧な仕事で支え守りたい



杵築市内の人口密集地域を中心とした家庭ゴミなど一般廃棄物の収集事業と、市内全域の資源ゴミの受入から原料化までを担う「杵築市資源物ストックヤード」を運営する。業界内では機械化が進む中、代表取締役の後藤裕策氏は、あえて“人間の五感”を大切にしたい仕事にこだわる。「機械ではできないきめ細やかな分別作業は手間暇はかかるが、質の高い資源の原料をつくることに必ずつながる」。不純物がなく、どこよりも美しいと称される「資源ごみの杵築ブランド化を目指す」とのビジョンを掲げ、高いプロ意識で地域の生活環境を支え続ける。

不燃ゴミから有価物を取り除く「不燃ゴミのマテリアルリサイクル」にも取り組みたいと展望を描く

〔所〕 杵築市大字馬場尾758-7
〔電〕 0978-62-0053
〔休〕 土・日曜

有限会社 一竹

割烹・ホテル業

地域の観光を支え発展を見守り続ける老舗宿



創業は昭和37年。初代は魚屋の商いから始まり、現在はビジネスマンや観光客などを中心としたホテルを営み、法要や宴会、会食などに最適な割烹、レストランも併設する。3代目女将の後藤美保氏は結婚後、50年以上にわたり「御宿 割烹 一竹」を支えてきた。ご主人の他界後も、自ら早朝から厨房に立ち宿泊者の朝食の準備をしたり、お客様から要望があれば竹田の観光案内も行うなど、地域に根差したおもてなしを大切にしている。また、竹田市の郷土料理「^{あたま}頭料理」を味わえる数少ない店としても知られ、人気を博す。

JR 竹田駅からほぼ近く、すぐそばには温泉施設「花水木」もあり観光の拠点として利用しやすい

〔所〕 竹田市大字会々
2266-4
〔電〕 0974-63-2138



有限会社 甲原組

建設業

土木の力で暮らしを築き、地域の未来を守る



確かな公共工事で国東市の人々の安全・安心な暮らしを守る「有限会社 甲原組」。建設の魂は細部に宿るという思いから組織は少数精鋭の体制を守り、大小どんな工事でも丁寧に仕上げる技術に誇りを持つ。また、自然災害による被災現場では被害の拡大を最小限に抑え、より迅速な復旧を行うのも大切な仕事。2代目となる代表取締役の三浦秀治氏は「災害に強いまちづくり」の必要性を唱え、復興はもちろん「より適切な国土整備のために、現場の視点から災害予防に関する技術も積極的に提案していきたい」と今後の課題を語る。

令和4年度に、優良建設工事業者として国東土木事務所長表彰を受けた

〔所〕国東市国東町田深1223-3
〔電〕0978-72-3246
〔休〕土・日曜、祝日

株式会社 フォーシーズン

不動産業・小売業

人生の大切な瞬間に寄り添う3つの事業領域



フィルムの販売から写真プリント、各種証明写真の撮影を行う「カメラのおだわら」として創業。九重町では来場者の思い出を形に残す「九重“夢”大吊橋観光写真部」も営業する。さらに現在は、冠婚葬祭から日常の一輪まで多様に対応する「花工房 咲」、不動産の売買・賃貸の管理業務を行う「トゥモローホーム」も展開。代表取締役の小田原克也氏は、事業領域が多岐に渡るからこそ仕事を属人化せず、従業員全員が様々に業務を担う職場環境の構築を目指してきた。理念は「(人の和)をもって城と成す」。今後も途切れなく地道に信頼を積み重ねる。

個人経営の写真店として平成10年に誕生。後に法人化し、現在は「HIヒロセスーパーコンボ玖珠店」内で営業する

〔所〕玖珠郡玖珠町大字山田330
〔電〕0973-72-9155
〔休〕なし※年末年始のみ

有限会社 肉のなかおか

精肉小売業

確かな品質と味。70年を超えて愛される精肉店



先代が行商の苦勞を経て、昭和26年に築いた和牛専門店。かつては枝肉などの卸業を主として歩み、2代目を守る取締役社長の金岡次男氏が小売業へ業態を一本化して約50年になる。現在は「おおいと和牛」を中心とする良質な肉を中心に、金岡家に代々受け継がれるコロッケも販売。きんぴらやおからなど、個性に富んだ味わいが昭和の町散策の相棒として人気を集める。さらに昨年6月には、新規事業として焼肉店をオープン。今後も地元の人々と観光者の両方に愛される店づくりを続け、商店街全体の集客力・販売力の向上も模索していく。

定番の「和牛ミンチコロッケ」1個150円。他にもロースカツやミンチカツなど、精肉店らしい惣菜が揃う

〔所〕豊後高田市新町890-2
〔電〕0978-22-2137
〔休〕水曜



大分県高等学校教育研究会商業部会との 包括連携協定締結式

このたび県内25の高等学校で構成され、高校生に専門的な教育を実施し、次世代を担う若者を社会に送り出している大分県高等学校教育研究会商業部会と当組合との間で包括連携協定を締結しました。深刻化する企業の人材不足の対策が求められている状況において、両者の専門的知見、ノウハウを生かし、金融専門教育やインターンシップの活用により、高校生と県内中小企業との交流を行い、人材供給・持続可能な社会の実現に向けて協力することになりました。



第9回 宇佐国東半島観光・ 地域振興広域連携Project推進協議会 開催

宇佐国東半島地域を中心とした九州の魅力を国内外に発信し、関係自治体や事業者・団体と連携協力し交流人口の拡大を目的にした本プロジェクトも7年目に入り、第9回目の推進協議会を6月16日に開催しました。会員企業・団体や立命館アジア太平洋大学、別府大学の学生による地域活性化への提言があり、意見交換が行われました。発足より会長を務めていただきました是永修治前宇佐市長が退任され、後任には、長野恭紘別府市長が選出されました。また、新会員としてトヨタカローラ大分株式会社が入会されました。

